

平成28年度 経営発達支援事業 評価・見直し結果報告書

1. 評価機関名 北広島商工会 経営発達支援事業評価委員会
2. 開催日時 平成29年2月21日（火）午後4時
3. 開催場所 北広島商工会館 2階会議室
4. 出席者
 - (1) 外部有識者 道都大学経営学部教授 鈴木 重政
税理士 吉田 高志
北広島市商工業振興課長 佐々木 伸
商工業者代表 間野 和行
商工業者代表 大西 広明
 - (2) 商工会 会長 藤山 康雄
事務局長 高田 信夫
経営指導員 竹内 伸泰
経営指導員 工藤 功治

5. 内容

定刻となり、事務局が開会を宣し、藤山商工会長が開会挨拶を行った後、議事に入る。

(1) 経営発達支援計画及び伴走型小規模事業者支援推進事業について

事務局は、平成28年4月22日に認定を受けた経営発達支援計画及び認定計画において交付を受けて実施した伴走型小規模事業者支援推進事業の概要説明を行った。

(2) 平成28年度事業報告について

事務局は毎年度、認定計画の実施状況を国へ報告すること及び経営発達支援事業の評価・見直しを行う仕組みとして、本委員会によりPDCAを機能させていくことを説明した。

平成28年度において、経営発達支援事業を推進していくために実施した伴走型小規模事業者支援推進事業の実施状況は以下のとおり。

①地域経済動向の調査に関すること

取組内容1：全体経済の把握の実施

目標：随時 実績：随時

検証結果：経済動向については、各種データにより把握し金融支援などに活用した。金融支援等で先行き予想などに活用し、事業計画書作成支援に役立った。

取組内容2：地域内経済動向調査の実施

目標：毎月 実績：毎月

検証結果：独自の小規模事業者景気動向調査を実施し、地域内の経済

状況把握に努めた。市内の経済状況を的確に捉えることができた。

取組内容 3：小規模事業者ニーズ調査に実施

目標：実施 実績 9月実施

検証結果：小規模事業者 300 事業所を対象に実施し、174 件（回収率 58%）の回収があった。分析は網野中小企業診断士に委託し、専門的な分析を行った。小規模事業者のニーズを把握することができた。

取組内容 4：地元金融機関との情報交換会の実施

目標：毎月 実績：毎月

検証結果：会を開催することはしなかったが、融資斡旋時等に市内の経済状況等について聴取した。当会で収集した情報との精査により、より正確な市内経済状況を把握することができた。

②経営状況の分析に関すること

取組内容 1：現状把握のための SWOT 分析の実施

目標：50 件 実績：49 件

検証結果：巡回訪問により、各事業所の現状把握や課題の抽出などを行った。現状把握においては、当事者も認識しており解決策を見いだすまでには至らなかった。

取組内容 2：ネット de 記帳データ活用による財務分析の実施

目標：50 件 実績：48 件

検証結果：従来、経営分析機能を積極的に利用してしなかったが、受託事業所全社の分析を実施した。財務上の問題点が本人に分かりやすく伝えられ、金融支援にも繋がった。

取組内容 3：小規模事業者経営改善資金（マル経）活用による財務分析の実施

目標：12 件 実績 11 件

検証結果：マル経融資検討のため、経営分析等を実施した。経営内容を確実に把握することができ、総合的な支援ができた。

取組内容 4：経営自己診断システム利用による分析の実施

目標：15 件 実績 0 件

検証結果：実施しなかった。

取組内容 4：専門家活用による経営分析の実施

目標：5件　実績：8件

検証結果：補助金申請等に絡め、現状分析等を行った。ものづくり補助金申請5件に繋がった。

③事業計画策定支援に関すること

取組内容1：SWOT分析により掘り起こした事業者への事業計画策定支援の実施

目標：25件　実績：1件

検証結果：単なる事業計画作成を希望した事業者はなく、金融、補助金申請への支援と重複した。

取組内容2：ネットde記帳、経営自己診断システムにより掘り起こした事業者への事業計画書策定支援

目標：25件　実績：1件

検証結果：単なる事業計画作成を希望した事業者はなく、金融、補助金申請への支援と重複した。

取組内容3：融資斡旋時における経営改善計画書作成支援の実施

目標：12件　実績15件

検証結果：ネットde記帳や財務分析での問題点を改善するための計画書の作成支援を行った。支援回数は72回であった。マル経11件のほか、市融資斡旋に繋がった。

取組内容4：補助金申請に係る事業計画書作成支援の実施

目標：10件　実績16件

検証結果：持続化補助金、ものづくり補助金等の計画書作成支援を行った。支援回数は76回であった。持続化補助金8件、ものづくり補助金7件、その他1件の申請に繋がった。

取組内容5：事業継承に向けた計画策定支援の実施

目標：3件　実績0件

検証結果：廃業に関する相談はあったが、事業継承に至るような相談はなかった。

取組内容6：創業計画書作成支援の実施

目標：7件　実績6件

検証結果：創業計画書作成支援、補助金申請等の申請支援を行った。支援回数は11回であった。全ての支援者が開業に至った。

取組内容 7 : 経営革新計画書作成支援の実施

目標 : 7 件 実績 0 件

検証結果 : 経営革新計画までの相談はなく、実施しなかった。

取組内容 8 : 人材育成支援の実施

目標 : 7 件 実績 : 0 件

検証結果 : 中小企業事業団での研修助成を想定していたが、実績はなかった。

④事業計画策定後の支援に関すること

取組内容 1 : 巡回訪問時における事業計画策定後のフォローアップの実施

取組内容 2 : 専門家と連携したフォローアップの実施

取組内容 3 : 事業計画策定後の金融支援等によるフォローアップの実施

目標 : 3 2 8 件 実績 : 2 8 件

検証結果 : 事業計画策定支援が年度後半に集中してしまい、フォローアップまでには至らなかった。今回はフォローアップまで至っていないが、今後支援回数は増えていく。

取組内容 4 : 創業者へのフォローアップの実施

目標 : 4 2 件 実績 2 5 件

検証結果 : 巡回訪問等により、悩みや困りごとを聴取した。問題解決に向けたアドバイスにより、継続して事業を続けている。

⑤需要動向調査に関すること

取組内容 1 : 需要動向等調査の実施

目標 : 毎月 実績 : 都度

検証結果 : 必要な情報の収集のみの対応に終わってしまった。情報提供までには至らなかった。

取組内容 2 : 消費者ニーズ調査の実施

目標 : 年 1 回 実績 : 実施

検証結果 : 市内の 1000 世帯を対象に実施し、388 件 (38.8%) の回答があった。調査項目設定。分析を網野中小企業診断士に委託し、専門的な分析を行った。消費者が何をどこで購入しているか、どのような物を望んでいるかを把握することができた。

⑥新たな需要の開拓に資する支援に関すること

取組内容 1 : インターネットを活用した需要の開拓

目標 : 10 件 実績 : 3 件

検証結果 : 当会の掲載無料のホームページに 3 件の事業所が商品等の掲載をし、合計 5 回の書き込みがあった。当会のシステムを利用することにより、費用をかけずに商品等の PR を行うことができた。

取組内容 2 : アンテナショップを活用した需要の開拓

目標 : 3 件 実績 : 0 件

検証結果 : アンテナショップでの商品販売を考えているとの事業者がなく、実施しなかった。巡回訪問等により、出店者の掘り起こしを行い、目標を達成できるよう取り組む。

取組内容 3 : 展示会・物産展等への積極的参加による需要の開拓

目標 : 3 件 実績 : 0 件

検証結果 : 対象事業者に、展示会等の打診をしたが実績はなかった。物産展等に出展するまでの商品数がなく、人的対応も難しい。

取組内容 4 : 赤毛米を活用した新商品開発による需要の開拓

目標 : 実施 実績 : 実施

検証結果 : 3 事業所で、パンや菓子などの商品開発をし販売にも繋がった。道新などにも取り上げられ、赤毛米の認知度向上に繋がり、今後の商品開発にも期待ができる。

取組内容 5 : 三井アウトレットパーク札幌北広島・くるるの杜と連携した需要の開拓

目標 : 実施 実績 : 実施

検証結果 : くるるの杜で、赤毛米セットを 100 個販売し需要状況等の把握をした。完売することができ、一定の需要があることが分かった。

取組内容 6 : パブリシティ等の活用

目標 : 随時 実績 : 随時

検証結果 : 赤毛米関連商品を北海道新聞の記事として取り上げてもらい、PR を図った。各個店の開発商品および商工会の開発商品を合わせて PR することができた。

⑦地域経済の活性化に資する取組

取組内容 1 : 空き店舗利用促進事業の実施

目標 : 7 件 実績 5 件

検証結果 : 75,000 円を上限とし、家賃の半額補助を実施し 5 件の実績があった。創業者が多く、空き店舗の解消もされることから地域活性化に繋がった。

取組内容 2 : にぎわい創出のための販促事業の実施

目標 : 実施 実績 : 実施

検証結果 : 参加店で買い物等をしてもらおうと千円ごとにシールがもらえ、12 月 12 日から翌年 1 月 15 日まで、「にぎわい応援事業」を実施。参加店は 114 店舗。応募総数は 14,009 枚あり 2 月 5 日の雪祭り会場で抽選を行った。特賞 10 万円が話題となり、消費拡大に一定の効果があった。今後参加事業所の増加と P R の強化が課題。

取組内容 3 : 三井アウトレットパーク札幌北広島・くるるの杜来場者の市街への誘引

目標 : 研究 実績 : 未実施

取組内容 4 : 市内イベントへの「きたひろまいピー」出演によるにぎわい創出

目標 : 実施 実績 : 実施

検証結果 : 市内のイベント 20 件に出演するとともに、市外への 5 件の出演をした。マイピーが出演したことにより、イベントの集客力が高まった。子供達がマイピーの周りに多く集まった。

⑧他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する こと

取組内容 1 : 日本政策金融公庫・地元金融機関との情報交換に関する
事項

目標 : 随時 実績 : 随時

検証結果 : 経済状況や金融状況、個別案件に係る情報交換など行い、金融支援の円滑化が図られた。

取組内容 2 : 専門家との情報交換に関する事項

目標 : 10 件 実績 : 8 件

検証結果 : 補助金申請等で経営指導員が同行し、専門家との情報交換を行った。

⑨経営指導員等の資質向上等に関すること

取組内容 1：研修等への派遣

目標：随時 実績：随時

検証結果：北海道商工会連合会、中小企業大学校の研修を予定どおり派遣した。職員の資質向上が図られたが、経営発達支援を全職員で実施するまでには至っていない。

取組内容 2：職場内研修等の実施

目標：随時 実績：随時

検証結果：研修に参加した職員から、朝礼時等に知識や情報の提供があった。職員の資質向上に効果があったが、より掘り下げた研修によりさらなる資質向上が必要。

⑩事業の評価見直しをするための仕組みに関すること

取組内容：事業評価委員会の開催

目標：2回 実績2回

検証結果：これまでは、外部評価が殆どなく事務局対応となっていたが、評価の見える化が図られた。

(3) 平成29年度事業計画及び予算について

事務局は、伴走型小規模事業者支援推進事業を活用して平成29年度の事業実施を計画しており、事業内容は、経営発達支援計画に沿ったものであり、小規模事業ニーズ調査・消費者ニーズ調査は実施しないため予算は減額となることを説明した。

(4) 事業の評価・見直し結果の内容について

外部有識者からの意見等は下記のとおり。

(鈴木委員) 地元金融機関との情報交換で、事業者と金融機関の認識のずれについて詳しく説明願いたい。

(事務局) 事業者は経営が厳しいほど、外部要因によるものがあると説明するが、金融機関はそう見ていない。

(鈴木委員) 現状把握のためのSWOT分析の実施で、解決策を見いだすまでには至らなかったということだが、アプローチを変えてはどうか。

(事務局) 検討します。

(鈴木委員) 創業計画書作成支援は、空き店舗利用促進事業の利用者ということだが、業種は何か。

(事務局) サービス業が3件、飲食業が2件、建設業が1件です。

(吉田委員) フォローアップの関係で、日常業務に加えてこれだけの目標件数とするのは大変ではないか。

(事務局) 項目ごとを集計するとこうになってしまうが、相談指導業務であるので、できる限り目標達成に向け努力する。

(佐々木委員) 展示会・物産展等への積極的参加による需要の開拓について、積極的に行ってほしい。補助金がなくても独自予算で対応できないか。

(事務局) 展示会等の出店案内は対象者に都度している。事業者の出店が経営計画上必要と認めれば今後補助金で支援する。

(鈴木委員) 赤毛米を活用した新商品開発による需要の開拓では、積極的にPRしてほしい。

(事務局) 分かりました。

その他、事務局は意見等を求めたが特に発言はなく、評価委員会を閉会した。午後5時15分であった。